



# 学科・コースだより

No. 4

平成20年10月発行

〒626-0074 京都府宮津市上司1567-1

URL : <http://www1.kyoto-be.ne.jp/kaiyou-hs>

校長 井上 泰夫

TEL : 0772-25-0331

FAX : 0772-25-0332

10月8日(水)～10日(金)の3日間、3年生の最後の集中実習が行われました。魚類採集や未利用資源の有効活用、京都府立丹後海と星の見える丘公園での土木実習やチャレンジショップを行いました。また、豊かな体験活動推進事業として、栗田中学校と連携してパンなどの製造を行い、天橋の郷へ寄贈しました。3年間の学習のまとめとして専門的な知識と技術を活かした、地域に貢献できる実習が行われました！



## 海洋科学科

大学進学を目指す学科です。限りなく普

通科に近いカリキュラムとなっています。

海洋科学科では日頃の授業内容とリンクさせながら、「魚類相調査」、「加工・製造」、「成果発表」の3つをテーマに設定し、実習に取り組みました。昨年度実施した、舞鶴湾内の「京都府青年の島 “戸島”」での水産生物相調査が入島制限のため、冠島周辺の魚類調査に切り替えて実施しました。

### 1日目 冠島での魚類相調査



冠島へ向うまでの実習船「かいよう」の操船は生徒の手で行いました。南南東～北東の風3～4m波高0.5m程度と絶好の調査日和に恵まれ、魚の釣獲に挑み、ほぼ目的どおりの成果を収めることができました。

### 2日目 魚類の観察

前日に採集した試料としてのプランクトンおよび魚類の観察、検索、同定を行いました。結果はイシダイ、イサキ、カサゴ、マダイ、ササノハベラなどの10種類で、約170尾の釣果でした！

さらにこの後、これらを利用する加工・製造を実施しました。レシピを立案し、限られた調味料を利用し、無駄がなく魚が活用できるよう工夫しました。



### 3日目 研究発表

今回の実習2日間の成果をもとに、まとめて発表しました。得られたデータと写真を巧みに使用し、午前中に構想を練り、午後はまとめや発表練習をして、6限目に班ごとにプレゼンテーションを発表しました。実習の成果を、年度末に行われる学習・研究発表会に継続・発展していく予定です。



(生徒感想)

- 最終日は発表の準備をするだけで終わってしまいましたが、この3日間は本当に貴重な実習ができました。魚を自ら釣り様々な調査をし、初めての実習ができたので勉強になりました。調理でもこれまでにない加工品を作ることに着目してできました。この学習を普段にも活用したいです。
- 3日間の実習を終えて、釣れた魚を調査したことから、どの海域にどのような魚種が生息しているかなど、魚類相調査はとても重要だと思いました。今回は漁獲することができなかったサワラやカンパチなど、南方系の魚が漁獲できれば研究に使えるので、探しに行こうと思いました。



# 航海船舶コース

船舶職員(海技士(航海))になるための学習をするコースです。

3年航海船舶コース16名(男子15名、女子1名)は実習船「みずなぎ」を用いた底曳網漁業実習を行いました。

規律ある船内生活を通してシーマンシップを養い、底曳網漁業実習の知識や技術を身に付けるための実習を行いました。

今回使用した網は、エチゼンクラゲの入網を防ぐための改良網で、3年航海船舶コースの生徒が考案し、京都府立海洋センターやみずなぎ乗組員の協力を得て作成されたものです。今回の実習には同センターの職員さんも同船し、改良網の操業が行われました。



## 底曳網漁業実習

今回の漁場である、経ヶ岬沖の海域まで生徒が航海当直を行いました。改良網でソウハチやアカガレイ、キダイなどを漁獲しました。マアジの漁獲量が1.5トンとあまりに大漁で、船内の冷凍庫に入りきらないほどでした!



## 漁獲物測定

漁獲物の体長・体重測定を行いました。慣れた手つきでパンチング作業を行い、漁獲された魚の一部を宮津漁連に出荷するため、選別作業も行いました。

## アンテナショップ・海洋市場

漁獲物を干物にし、10日(金)にはフクヤ男山店で鮮魚の販売を行い、11日(土)には本校で鮮魚と干物を販売しました。この日は中学生学校見学会の日でもあり、参加された保護者の方も買っていただきました。



# 海洋技術コース

海洋構造物の設計・施工を学び、マリンエンジニアを目指すコースです。



海洋技術コースは日頃の学習成果を活用し、地域に貢献できる心と技を身につけるために、京都府立丹後海と星の見える丘公園での土木実習に取り組みました。実際の土木工事に携わることによって、作業の大変さや安全確保や専門的知識、技能の習得を目指しました。

(生徒感想)

初めての作業が多く、ドリルで釘を打ち込むのも初めてで、小さな釘を打つのに苦労しました。土木作業などの採寸や、計算もできず、役に立てませんでした。大型の機械を使えば簡単にできる作業も手作業で意味のあるものになっていきました。良いものを作るのに、同じことの繰り返しであっても手を抜けば決していいものはできないなと思いました。



## ボードウォーク

笹狩りの作業や、湿地帯に木道(ボードウォーク)を設置するために、杭となる木材の皮むきや防虫剤の塗装、固定ボルトの穴を空ける作業を行いました。2日目には実際に湿地帯に杭打ちを行い、ボードウォークの固定作業を行いました。

## トロッコ用レールの施設

公園内のトロッコ用レールの施設も行いました。必要器材の運搬から行い、駅舎の基礎となるコンクリート製作や掘削し、基礎面にコンクリートを打ちました。

この工事内容は、海洋技術コースで学んだことすべてに関わるものであり、総合力が試される実習になりました。





# 栽培環境コース

魚介類についての知識や飼育技術について学習するコースです。

## 1日目 大雲川環境調査

栗田にある大雲川に行き、河川環境を表す指標生物を採集して、大雲川的环境を調査しました。水生昆虫を中心に生物採集を行い、採集した水生生物を同定し、スケッチを行いました。

今回の調査では、大雲川的环境は5段階中上から2番目のきれいな環境であることが分かりました。



## 2日目 操船実習



実習船「かいよう」の操船実習を行いました。操舵や見張りを交代で行い、航海に必要なチャートワーク（海図の読み取り）などを勉強しました。魚を育てる知識だけでなく、実践的に役立つ技術の習得を目指しました。

## 3日目 施設見学

舞鶴にある、京都大学付属水産実験所を訪問し、研修を行いました。実験所内で行われている研究の紹介や、日本最大の標本室を見学させていただきました。また、森と水産生物との関係の講義を受け、これからの学習の糧となる実習を行うことができました。



# 食品経済コース

食品の製造や安全管理、情報処理技術を活用した流通を学ぶコースです。

## 1日目 生産実習

9日（木）のアンテナショップ（フクヤ宮村店）での販売に向けて、かまぼこを作りました。慣れた手つきでスムーズに作業を行うことができ、同じく9日に行われる豊かな体験活動に使用されるパンの仕込みも行いました。



## 2日目 販売・連携事業

かまぼこ200個とイチジクジャム50瓶をフクヤ宮村店で販売しました。特にかまぼこは、今年度10年ぶりの値上げを行い、売れ行きが大変心配されましたが、完売するという大盛況でした！

また、栗田中学校と連携をしてパン90個、ジャム9瓶、かまぼこ9パック、テンプラ9袋を製造し、天橋の郷へ寄贈しました。



## 3日目 チャレンジショップ

昨年度に引き続き、福井県高浜市のぷらっとHOME高浜で日替わりシェフをしました。海の幸を用いたパンバイキングについて、早くから計画を立て、実践的な力を身につけました。

